

# 平成 24 年度 第 3 回浦安市環境審議会 会議要旨

1. 開催日時 平成 24 年 12 月 21 日（金）午前 10 時～

2. 開催場所 浦安市消防庁舎 3 階 大会議室

## 3. 出席者

（委員）

柳憲一郎、石川正純、樂々道夫、吉原幸守、大杉麻美、古賀典道、  
畑中範子、大石昇、加藤里行、小林章宏、六井元一、渡辺雅彦

（事務局）

都市環境部長 長峰敏幸、都市環境部次長 大塚伸二郎、  
環境保全課長 宇田川道高、  
環境保全課環境計画係長 平林俊明、  
同課環境推進係長 長島忠、  
同課環境計画係 村瀬さやか、千葉百恵子、佐々木嘉之

## 4. 内 容

(1) 部長あいさつ

(2) 議題

- ・平成 24 年版（平成 23 年度分）環境基本計画年次報告書に基づく環境基本計画の進捗状況について
- ・その他

## 5. 配付資料

- ・資料 1 平成 24 年版（平成 23 年度分）浦安市環境基本計画年次報告書（案）
- ・資料 2 正誤表\_\_平成 24 年版（平成 23 年度分）浦安市環境基本計画年次報告書（案）

## 6. 会議経過

○平成 24 年度（平成 23 年度分）環境基本計画年次報告書に基づく環境基本計画の進捗状況について

・説明

1. 安心して暮らせる生活環境が保たれ、健やかに暮らせるまち
  2. 水と緑や歴史・文化とふれあえる、潤いと安らぎのあるまち
- について事務局より説明を行った。

（会 長）

ただいま事務局から説明があったが、これについて質問はあるか。

(委 員)

P 46 地盤沈下の測定地点について、U-10 鉄鋼通り 2 丁目道路とあるが、参考資料（水準測量結果）では鉄鋼通り一丁目となっている。どちらが正しいのか。

(事務局)

確認させていただきます。

(委 員)

・ P 59 生垣設置住宅件数について、増加となっている。震災により建て替えたお宅は庭がなくなっている気がするが、どのように調べているのか。

・ P49 平成 24 年度以降の主な施策の方向性について、今年取り組んでいくことを継続するものが多いと思うが、特に来年度以降に強化していくものがあれば、目印などあればわかりやすいのではないか。

(事務局)

・ 生垣設置件数は、基準年と比較して 310 件の増加となっておりますが、震災により被害を受けた塀を復旧するにあたって、生垣を設置されるお宅が多かったことから、例年に比べて増加しているものと考えます。

調べ方については、市で補助金を交付しており、交付条件として計画時と完成時に現場確認を行っています。

・ 平成 24 年度以降の主な施策の方向性については、特に強化していくものということではなく、今後も継続して取り組んでいく重要なことという理解をしていただきたいと思います。

(委 員)

P48 ごみ散乱防護用ネット貸し出しについて、貸し出しは自治会を通して行っているのか。ネットをしているところ、していないところがあるが、対象が個人でも貸し出しはできるのか。

(事務局)

自治会を通じることなく個人の方でもネットの貸し出しができますが、1 世帯のみの使用でネットの貸し出しは行っていません。カラスが多いなどの事情により複数世帯で固まってごみを出している場合にネットの貸し出しを行っています。

## ・ 説明

3. 環境への負荷の少ない、地球にやさしい循環型社会をめざすまちについて事務局より説明を行った。

(会 長)

ただいま事務局から説明があったが、これについて質問はあるか。

(委 員)

P 88 平成 24 年度以降の主な施策の方向性（2）環境負荷の少ないエネルギー導入の推進について、○学校を含む公共施設において、太陽光発電、風力発電などの新エネルギー導入に努める、とあるが、数値目標ではなく、徐々

に導入していくという理解で良いか。

(事務局)

数値目標は設けていませんが、既存施設については導入に努めていき、新規施設については、最低でも太陽光発電を設置していくことを内部で進めています。

(委員)

P71(2) 廃棄物の適正処理について、平成23年度の最終処分量はエコセメント化処理施設が年度途中で停止したことから増加している、とあるが、どうして止まったのか理由の記述がないと市民にはわからないのではないか。

(事務局)

エコセメント化とは、浦安市クリーンセンターから出る灰を最終処分場に埋めずセメント化し、資源化することです。各処理施設では、千葉県内の各市町村分を処理していることから、その中で基準値を超えてしまう放射性物質が出てしまったことで、平成23年度は操業を停止し、持ち込みができなくなりました。そのため浦安市では、最終処分場がある下妻市に処分をお願いしました。その経緯・内容を市民にもわかるように具体的に記述していきます。

(会長)

P70(1) ごみの減量・再資源化のごみ排出量の推移と一人あたりの1日平均ごみ排出量の推移のグラフが逆ではないか。

(事務局)

訂正いたします。

(委員)

P81 太陽光発電システム設置への補助など市民の新エネルギー導入の促進について、震災の影響による設置が多いと思うが、平成23年度の数値しか記述されていないので、以前との比較ができない。

(事務局)

事業の経過を含め、説明を付け加えます。

## ・説明

4. 協働で進める、環境保全に積極的に取り組むまちについて事務局より説明を行った。

(会長)

ただいま事務局から説明があったが、これについて質問はあるか。

全般を通じて、震災の影響について部分的に触れているところはあるが、淡々と数字が並べているだけである。この年次報告書を見る限りでは、環境の状況について影響が見られないと評価されてしまうので、もう少し踏み込んで記述する必要があるのではないか。

(事務局)

平成23年度は震災の影響を受けている年度となりますが、大きく数値等

で表れてくるのは平成 24 年度になり、どのように踏み込んでいくか、調整をさせていただきます。

(会 長)

P13 沿革では、平成 23 年 3 月に東日本大震災とあるだけで、復興計画やその他会議について、一切触れていない。市の概況なので、環境基本計画にこだわらずに、整合性をとりながら、もう少し記述しても良いのではないか。

(事務局)

市の概況では、震災を受けて復旧・復興に向けて取り組んできたことを記述していきたいと考えます。

(会 長)

環境教育・学習への原点というのは、普段から自然に親しんで学んでいくことである。今回の震災で子どもたちが考えたことや、行政がどのような指導をしたのか、報告書には表れていないため、その点をわかるように記述を変えたほうが良いのではないか。

(委 員)

P 90 郷土博物館入館者数が減少した理由について、震災の影響により閉館していたためとの説明があったが、その理由を記述したほうが良いのではないか。飽きてしまったと思われても仕方ない。

(会 長)

市民が見てわかるように記述したほうが良い。

(委 員)

震災の影響によることは、別の項目に分けてでも記述したほうが良い。

(会 長)

環境基本計画年次報告書は環境の記録なので、事実を記述する必要がある。体裁が整うのであれば別の項目に分けて記述したほうが良い。

(委 員)

平成 23 年度は震災が影響した年度であるため、基準年度の比較の他に前年度との比較を載せたほうが、平成 23 年度は特別な年であったことがわかりやすいのではないか。

(事務局)

意見を踏まえて、見直していきたいと考えます。

(委 員)

震災の影響は大きな問題と捉えられていることは確かだが、環境基本計画で定めた目標について、基準年に対する成果を報告するものが、年次報告書である。

それを基本として、復興計画や、現在進めてきている第 2 期環境基本計画と整合させていかなければいけない。

(事務局)

環境基本計画の基準年に対する評価を基本として、全体的な市の取り組みや震災で受けた影響に触れていくなど、意見を総合的に取り入れていきたい

と考えます。

(会 長)

復興計画との取り組みの関連は、年次報告書の中に復興計画に記述があるとしておけば理解ができる。年次報告書は、復興計画も踏まえて、環境の状況と環境基本計画に基づき実施された施策の状況の両方をわかるようにしてほしい。

(委 員)

大気や水質・地盤沈下などの基準について、一般的にどのような指標が基準となるのか。

(会 長)

大気や水質などの基準については資料編を参照してほしい。

地盤沈下については、現在のところ基準がない。現状維持を基本として、変動幅を少なくすれば地盤は下がらないと考えている。また、現在の推移を基本として基準とすることを環境省が検討中であるため、今後、基準ができる可能性はある。

(委 員)

浦安市ではないと思うが、他市で隆起することは環境問題としてあるのか。

(会 長)

水圧が強いところは、浮き上がりを防止するため、地下水を抜いて川に流している。

(委 員)

水の汲み上げは規制しているため、液状化では浮力が働いて管が浮き上がったりにしている。

(会 長)

活発なご意見ありがとうございます。

本日、委員の皆様からいただいたご意見等は、可能な範囲で反映させることとなると思われる。

次回の会議開催予定は、4月を予定しているとのことなので、日程が決まりしだい、事務局より連絡が行くと思う。

以上で、本日の環境審議会を終了します。

○閉会